

対応状況報告書

大 学 名： 弘前大学

評価実施年度： 令和元年度

対象となる基準	基準5-3
改善を要する点	○ 地域社会研究科において、実入学者数が入学定員を大幅に超えている。
対応状況	<p>・地域社会研究科：1.17倍（2016～2020年度）と改善されている。</p> <p>上記の改善を要する点の指摘に対して、2019年10月7日に開催した地域社会研究科教授会において、これまでの入学者数及び入学定員充足率の実績について確認を行い、今後の入学者選抜については、入学定員を十分配慮して選抜を行うこととした。</p> <p>【根拠資料・データ】 認証評価共通基礎データ 5-3-1-02_大学院地域社会研究科教授会議事要旨</p>

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「II 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。
4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 令和2年または3年の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応の取組及び根拠資料・データ等に記載は求めないこととします。
6. 令和4年の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。